

伊豆ジオパーク一周ウォーキング報告書

と き 2019. 02. 27 (水) 晴・風あり
コース 長泉発6:35ー田牛・サンドスキー場着8:40ーサンドスキー場ー竜宮窟8:58
ー田牛・南伊豆歩道9:10(通行止めで揉める)ータライ岬10:02ー弓ヶ浜10:
41ー菜の花畑11:22ー青野川・道の駅12:00~14:30ー長泉17:10
歩・距 約17590歩、約10.6km
参加者 22名

伊豆ウォーク・お花見シリーズNO. 2で青野川に向かう。田牛、サンド・スキー場から出発。スキー場でSさんが用意したダンボールで滑ったが、摩擦が大きく全く滑らなかった。やっぱりソリでないダメ。ただ、その情熱に拍手喝采。



すぐ下の竜宮窟に上り俯瞰すると波打ち際がハート型に見えた。下って中に入ると規制線があった。先日、落木があったようだ。ここは女優のYが宣伝している。



田牛集落から南伊豆歩道に入る。入口に「車は通行止め」になっていた。この先にトンネルがある。トンネルの手前で男が数人道路わきの樹木の伐採をしていた。

一人の男が「トンネルは通行止めで通れない」「引き返してくれ」
「先日、浜松から来たウオーカーも返した」という。一応、トンネルを
確かめると何もやっていないし、何も障害物はない。

すったもんだしたが、頭に来ないで、ここは一番冷静に下田市役所建設課
のTELNOを聞き出し尋ねたら、簡単に「OK」だった。あの男たちの
「上から目線は」一体何だったのか??!!

確かに工事中なら危険かもしれないが、通れるものなら通すべきだ。

物事をあまり杓子定規で見ない方が良く、それでなくても現在伊豆は集客が落ちている。最大限の
サービスはすべきだ。

また、反対側の弓ヶ浜には、通行止めの看板はなかった。二人、
田牛に向かうウオーカーがいたので、12時から1H通行OKと知らせてあげた。
時間外に弓ヶ浜側から行って最後に通れなかったらどうするつもりなのか??!!
ちなみに迂回路の知らせもないし、地元の方も迂回路はないと言っていた。



田牛先、トンネル通行止め顛末・・・静岡新聞投稿から

これでいいのか通行止め対応

27日、伊豆ジオパーク一周ウオーキングで南伊豆歩道を、
下田市・田牛（とうじ）から青野川まで22名で歩いた。

歩道入口に、この先のトンネル工事で「車両通行禁止」の立て看板があった。

「車両通行禁止」だから「歩行者は通行出来る」と思い歩いて行くと
トンネル手前で工事関係者が5～6名、歩道脇の樹木伐採作業をしていた。

一人の方が「トンネルは通行止めで歩けないから帰ってくれ」

「先日は、浜松から来たウオーカーにも帰って貰った」「迂回路はない」

「弓ヶ浜まで車で行ってくれ」とかなり高圧的・威圧的な上から目線口調でいった。

恐らく気弱な人、素直な方、大人しい方は引き返してしまうだろう。

しかし、「そうですか」と簡単に引き下がれない。「看板には歩行者禁止とは書いてない」「トンネル内を見たが、機材は全く置いてなく、特に歩けない状況ではないと」反論する。

すったもんだ20分ほどやりあったが埒が明かない。結局、下田市建設課に電話で確認した「注意して通行して下さい」だった。

現在、伊豆はジオパークで盛り上げている。期待して遠くから訪れる方は多い。

ジオパークは伊豆観光の目玉だ。かつ、市町村は、人口減・過疎でいかに伊豆を振興していくか苦労をしている。

私たちは同じ県東部の在住者として、伊豆八十八札所巡礼・伊豆一周ウォーキングなどの行事で伊豆振興の一役を買っている。

その中でこのような理不尽な作業員の対応は到底納得出来るものではない。

遠路はるばるやって来る観光者に地元の方は最大限の対応・おもてなしをすべきだ。

一部の人の誤った対応で伊豆のイメージは良くない方向に行ってしまう。

市役所・現場作業者はコミュニケーションを密にし、訪れる観光者に温かな眼差しで対応することを期待いたします。



トンネルは何とか無事通過した。以前、引き返えさせられた浜松の方は気の毒と思った。

世の中は常に「善意」と「悪意」がある。どちらも間違っていないかもしれない。しかし、どちらで対応するかは、その人間の資質だ。

何が何でも何とかしてあげようとする人間、何としてでもどうにかさせない人間。実は同じ人間なのだ。



歩道の崖の岩を利用して面白いモチーフがあった。タライ岬に至る椿園には、大きな椿があった。余りに大きい品種が違うだろうか。タライ岬歩道が終わるところで、逆コースに行く二人にあった。先ほどの顛末を話した。ただ、12時から13時は通行出来るから問題はないだろう。



弓ヶ浜に降りていく。T大学学生がタコを揚げていた。聞けば、特に何かの研究をしている訳でもなかった。優秀？なT大の割には、タコは全く揚がっていなかった。ここからK・H・Sは、トン汁を作るため、青野川にバスで先行する。他はブラブラ歩く。青野川末端から少し堤防を進むと「菜の花畑」に出る。広大な畑だった。中をグングン歩くとズボンが花粉で黄色くなってしまった。ここで先日、結婚式があったようだ。







